

私の留学体験記

広島県立上下高等学校 2年 貞丸 愛莉彩 (さだまる ありさ)

留学期間 令和元年8月19日 ～ 令和元年8月23日 (5日間)

留学先 平湖市職業中等專業学校 (平湖市, 中華人民共和国・浙江省)

私は、今回の留学で初めて海外に行った。家族に勧められたり先輩も楽しかったとおっしゃったりしていたので、行くことを決めた。中国の姉妹校を訪れ生徒さんと交流するだけでなく、有名な観光名所を訪れる機会もあり、とても貴重な時間を過ごせた。

上海空港で姉妹校の生徒さんが私たちを見つけたとき笑顔で手を振って迎えてくださり、とても感動し、来てよかったと思った。挨拶をしに学校を訪問した際、何人かの生徒さんと日本人俳優の話で盛り上がった。せっかく姉妹校を訪れたのだからと、校舎内を見て回った。敷地の広さや生徒数などに驚かされた。夜の歓迎会では、日本では出てこない大量の料理が出てきて、食べきれないと思い、焦った。しかし、中国では残すのが普通だと知り安心した。

2日目は、午前中に中国の文学者・思想家である魯迅の家に行き、歴史について学んだ。昼食は近くのデパートに行き中国でよく食べられる川魚の料理を食べた。日本では食べない魚だったので少し抵抗があった。その夜、平湖市にある湖に行き噴水のショーを見た。音楽に合わせてライトアップされた噴水はとても綺麗だった。3日目は、男子生徒さんと3Dプリントの体験をした。ゴム鉄砲と向こうの生徒さんがデザインしたライトを作った。予定していた時間より早く終わったので、生徒さんと沢山交流した。男女で話しているのが恋愛話で盛り上がり楽しい時間だった。4日目は、博物館や資料館を見て回ったり、古い商店街を探索したりした。お昼には、有名な牛肉ラーメンを食べた。その後学校へ帰り、陶芸を体験した。なかなか綺麗な形にならず苦戦した。5日目は、朝から上海へ行き観光した。お土産を買ったりミルクアイスを食べたりした。昼食には、本場の小籠包と胡麻団子を食べた。小籠包の正しい食べ方を教えてもらい美味しくいただいた。出来立てでとても熱くやけどするかもしれないと思った。

この5日間の短期留学では、普通の旅行では行かない所や体験できないことが沢山あった。現地の人と私たちでは感じ方が違った。特に臭豆腐の匂いを嗅いだときに実感した。姉妹校の生徒さんと仲良くなったので、もう少し中国に居たかった。海外旅行ではできないことばかりで、今後このような機会は無いかもしれないので、行って良かった。

